

時事新報定價

時事新報へ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價過送料廣告料ヘ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一箇月前金五十錢〇六箇月前金三箇

〇一箇月前金六箇

〇時事新報社ヨリ直城ニ郵便ニテ過送スルモノニ限り右定價ノ外ニ一箇

月二十六錢ノ過送料ヲ申受ク

月曜日、大祭祝日、聖母升天日等他の新聞紙休刊の日のみに時事

新報の過送は一ヶ月前金八錢なり但し郵便配達の地方は此外一枚に付一

錢を申受ク

時事新報廣告料前金	一日限	二日以上	三日以上	四日以上	五日以上
一行廿四字始 五字活字ニア	一行ニ付	二行ニ付	三行ニ付	四行ニ付	五行ニ付
自一行至十行 三十一行以上	一日限	二日以上	三日以上	四日以上	五日以上
八 錢	六錢五厘	七 錢	七錢	七錢	七錢
自十一行至二十行 三十一行以上	九 錢	八 錢	八 錢	八 錢	八 錢
自二十行以上	九 錢	八 錢	七 錢	七 錢	七 錢
三十一行以上	九 錢	八 錢	七 錢	七 錢	七 錢

時事新報

左の一筆は北米批評雜誌より掲載したる米國の醫學士シーラレ氏の説にして原文は Sedentary Men And Stimulants と題し平生坐業を事とする人は脳體を過勞して之を消耗するふと多きが故に酒、茶、煙草、咖啡等を用ひて之を防ぐべしとて其防消の功能を論じたるものなり彼國にて酒煙草等の害を嘆らすの聲は頗る喧しく近來は我日本よりも其類あるよし大酒果飲固より宜しからず古來世の諷笑する所なれども左ればとて唯その害を擧るのみにして其功を忘るしが如きは學者の事にあらず偶々米國の醫學社會より本論の現はるゝあり依て之を譲して社説に代ふ

酒茶煙草咖啡の功能

今世に不消化病又は脛液質病など稱する病は甚だ少なからざる中又も取分け坐業を事とする人よ此病の多さは争へからざる事實にして記者の知る所にても戸外の勞働と職とする輩が此種の病に罹りて苦痛を訴へたる例は極めて少く其病氣と云へば必ず身體中の機關よ保る眞實の病よりして謂ゆる所勞不快あと云ふ類にあらず然るに坐業者の疾患は毎々漠然身體氣分の不加減を感すと云ふに在るが如し今その不加減の次第に增長して遂に深憂大患よ陥りたる有様を述ぶるは茲に不要なりとするも此人々が斯る不幸の極に立至りたる次第は我々の深く注意を要する所なるべし如何となれば此種の病患者の其身體と共に精神・品行とも腐敗せしめて畜に一身を傷ふに止まらず併せて其害を他人よ及ぼす角は其上に病に罹る者多くは有力有爲の人をして社会の上流より立べき人々あればあり然るよ此の患を避けんとすれば全く之を避るに難からず又は之を輕減するの道もある可き又世人の之に注意を怠り坐して彼の大敵をして日々吾同胞を飢食せしむる今ふの患を避けるとすれば全く之を避るに難からず又は之を輕減するの道もある可き又世人の之に注意を怠り坐して彼の大敵をして日々吾同胞を飢食せしむる者を望むは恰も調子の狂ひたる樂器より變態なる音調の發するを體ひと同様の缺なるべし蓋し詩歌哲學宗教等の如き人間一種の天才は全く健康の人に屬せざるが如きもの間をみられあくにあらざれども斯る幻想は抑亦人事の末として彼の腹脣肝脾なる哲學者、宗教家改宗家等が古來今より至るまで此世界よりて何等の偉業を

奏したる事かある。抑も胃と肝との消化機は身體の堡壘とも云ふべきものにして生命を養ふ所の食物は又の二關を過て消化を受くるにあらざれば其功を成す能はざるは勿論、若しも二機關の働きして全からざるとときは全身より及ぼすものと知るべし左れば今茲に不消化病及び脛液質病は坐業の人の特疾ありとして扱其特疾ある以所は如何、其療法は如何、もしも之を療するの

術なきときは極度に輕減するの法如何等の問題は我々の須らく研究すべき所あり蓋し其病源たるものは種々あるとあらんあれども重もある原因は坐業を事とするは害を全身より及ぼすものと知るべし左れば今茲に不消化病及び脗液質病は坐業の人の特疾ありとして扱其特疾ある以所は如何、其療法は如何、もしも之を療するの

其然る所以を示さんとする又當り先づ生理學上の學説より始めるに不消化病とは食物の不消化即ち消化機に苦痛難儀を感するほどとして又脗液質病とは肝臓の機能を示すと云ふに於て又脗液質病とは肝臓の

人には遅くべからざる習慣として食物の分量と消化機の

所要との間に存する關係を破るより在此事たるや世九

の左まで疑はざる所あれども今詳細なる證據によりて

其然る所以を示さんとする又當り先づ生理學上の學説より始めるに不消化病とは食物の不消化即ち消化機の

人には遅くべからざる習慣として食物の分量と消化機の